



2019年5月31日

各 位

会 社 名 株式会社はてな
代表者名 代表取締役社長 栗栖 義臣
(コード：3930、東証マザーズ)
問合せ先 コーポレート本部長 田中 慎樹
(TEL. 03-6434-1286)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月31日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年9月13日に公表した「平成30年7月期決算短信[日本基準]（非連結）」に記載している2019年7月期の業績予想（2018年8月1日～2019年7月31日）を修正することといたしましたので、下記お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,522	百万円 354	百万円 353	百万円 243	円 銭 85.34
今回修正予想（B）	2,524	441	443	302	104.55
増減額（B－A）	2	87	89	59	—
増減率（％）	0.1%	24.6%	25.4%	24.3%	—
（ご参考）前期実績 （平成30年7月期）	2,092	319	335	234	82.30

2. 修正の理由

当期業績につきまして、売上高においては、UGCサービス事業（注. 1）のうち、コンテンツマーケティングサービスにおいて、CMS（注. 2）「はてなブログ Media」を利用いただいている顧客数が想定を上回り、広告売上とともに予想売上を大きく上回る見込みとなりました。一方で、コンテンツプラットフォームサービスにおいて、広告単価の低減の影響等によりアフィリエイト広告売上が予想売上を下回る見込みで、また、テクノロジーソリューションサービスにおいて、受託サービスとして提供している受託開発案件の一部の検収が当事業年度内に完了しないことが見込まれる影響もあり、全体では予想売上を僅かに上回ると見込んでおります。

一方、営業費用につきましては、前事業年度から当事業年度までの2事業年度に渡り遂行中のITインフラ投資において、選定した技術セットがコスト削減に効果的であり、当事業年度における投資額が想定を下回る見込みとなりました。その結果、データセンター利用料が予想費用よりも減少する見込みとなりました。また、採用活動や人員配置を慎重に進めたことで、当初計画比で人員数が下回る見込みであることから、給与及び手当が予想費用より減少する見込みとなりました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回発表予想を上回る見込みとなったため、通期業績予想を修正するものであります。

(注. 1) User Generated Content の略。インターネット上で利用者自身がテキストや画像、映像などのコンテンツを発信することができる場を提供するサービス。

(注. 2) Content Management System の略。HTML や CSS のような WEB サイトの制作に必要な専門知識を必要とせず、テキストや画像等の情報を入力するだけで、サイト構築を自動的に行うことができるシステム。

(注. 3) 上記の予想は、本資料発表時点における入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上